

JATCO Sustainability Report 2024



Jatco

ジヤトコ サステナビリティレポート
2024

編集方針

当サステナビリティレポートは、お客さま、従業員、ビジネスパートナー、地域社会などジャトコのすべてのステークホルダーを対象としています。ジャトコのサステナビリティ活動への継続的な取り組みをご理解いただくとともに、みなさまからのご指摘を新たな課題発掘への手がかりとし、今後の取り組みに生かしていく予定です。ご一読いただき、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

<アンケート>

<https://forms.office.com/r/32KDqbwgJn?origin=lprLink>



参考ガイドライン

「GRI（Global Reporting Initiative）スタンダード」

報告対象期間

2023年4月～2024年3月まで

報告対象範囲

ジャトコ株式会社および国内・海外連結子会社を対象としています。

報告サイクル

年次報告として毎年発行（前回は2023年12月）

発行年月

2024年10月

発行責任部署および問い合わせ先

経営企画部、グローバル広報部
https://www.jatco.co.jp/inquiry/agreement_other.html

目次

CEOメッセージ	3	人的資本：ダイバーシティの推進と社員の幸福の向上	
ジャトコについて		ダイバーシティ&インクルージョン	52
企業情報	6	人財育成	53
企業理念	7	労働安全衛生	56
価値創造のあゆみ	8	事業基盤：誠実な経営と事業基盤の強化	
目指す姿	9	信頼される品質	65
コア技術	10	人権	69
モノづくりの考え方	11	持続可能で責任ある調達	70
サステナビリティマネジメント		ステークホルダーエンゲージメント	72
ジャトコのサステナビリティ	15	ガバナンス・法令遵守・コンプライアンス	73
環境：持続可能な地球環境への貢献		災害対策（物理的ハザード）	77
環境マネジメント	20	情報セキュリティ	79
脱炭素化の推進	27	生産拠点別環境データ	
クルマの電動化への貢献	31	生産拠点別環境データ	81
循環型経済の構築	35	社会性データ	
大気・水資源・土壤保全	39	社会性データ	85
事業：モノづくりを活かしたモビリティ・イノベーション		GRIスタンダード対照表	
移動の可能性を拓けるソリューション	43	GRIスタンダード対照表	87
エネルギー効率の追求	45		
社会：地域社会との共生および発展への貢献			
コミュニティの発展	47		
社会貢献活動	48		

CEO メッセージ

サステナビリティ経営を強化し、人々の、社会の、地球の未来に貢献します



ジャトコ株式会社代表取締役社長兼 CEO
佐藤 朋由

ジャトコは、サステナビリティを企業活動の中核として位置づけ、ステークホルダーのみならず信頼され必要とされる企業であるために欠かせないものと考えています。

気候変動や資源依存、人権に関わるさまざまな問題等、世界は多くの課題に直面しています。グローバルに事業を展開する当社は、このような課題に向き合いながら、ステークホルダーのみならず多様な価値を提供するための取り組みを進めています。

その基本になるのは、「技術と情熱でモビリティの可能性を拡げる」という私たちのパーパスです。自動車用トランスミッションメーカーとして長年培った独自の技術を活かして新たなモビリティの可能性に挑戦し、お客さまや社会に価値ある商品やサービスを提供することによって、移動がもたらすより自由で豊かな社会の発展に貢献していきます。この変革期に従業員がリスクを恐れず挑戦するマインドを全社に広げるため、企業理念の価値観に「アントレプレナーシップ」を追加しました。また、ジャトコとして取り組むべき優先課題として、18項目のマテリアリティ(重要課題)を定めています。

大きな柱の一つは、クルマの電動化への貢献です。ジャトコは、ガソリン車用オートマチックトランスミッションの専門メーカーとして、常に製品の効率を追求し、燃費が良い環境性能の高い商品を提供してきました。今後は、電動車両用パワートレインの領域でも、当社独自の技術を活かした、伝達効率や静粛性、エネルギーマネジメント等において競争力の高い電動パワートレインを広く社会に

CEOメッセージ

提供することで、電動車両の価値向上と、電動車両の普及によるグリーンで豊かな社会の実現に貢献していきます。日産自動車様向けの電動パワートレインであるX-in-1は今年度中に富士市の工場での生産準備を完了します。独自開発中の超小型e-Axleなどと合わせて、2030年には電動車両向けユニットの年間生産台数500万台を目指します。

また、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーは当社にとっても重要なテーマです。カーボンニュートラルでは、開発、生産のプロセスや物流等、バリューチェーン全体で2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みをグローバルに進めています。サーキュラーエコノミーについても、「資源を最大限に活用する」という観点から、材料調達や製品企画・設計、アフターサービスなど様々な領域での、資源の効率的利用、廃棄物の削減を目指して取り組んでいます。

さらに、電動パワートレイン技術を含む当社の技術やノウハウを、クルマ以外のモビリティや新たな分野にも活かしたいと考えています。ジャトコが得意とするギアや制御技術を活用し、電動アシスト自転車用のドライブユニットの商品化に取り組んでいます。また、当社の中国法人が現地の有力メーカーと電動スクーター用のインホイールドライブユニットを共同開発する等、グローバルに取り組みが進んでいます。サーキュラーエコノミーを意識して電気自動車のリユース部品と当社で開発したギアを組み合わせた、低圧風力発電機の発電用増速機の実証実験もその一つです。アントレプレナーシップの精神をもって、私たちの技術を活かした社会課題の解決や新しい事業の可能性を探索していきます。

これらの活動をリードし推進するのは、ジャトコの「人財」です。

そして、活動を実現するためには、それら「人財」を含めたすべてのステークホルダーの人権を尊重することが不可欠と考えています。大切な「財産〔人財〕」である従業員一人ひとりが活き活きと活躍できるよう、多様性を尊重し、どのような職種、職場においても、性別、年齢、国籍、障がいの有無等にかかわらず能力を最大限発揮し成長できる環境づくりに取り組んでいます。また、従業員の心身の健康を最優先課題の一つとして、従業員のウェルビーイングと会社の持続的成長を目指す健康経営を実践しています。日本においては、経済産業省による「健康経営優良法人ホワイト500」企業に、6年連続で認定いただきました。

社会のみなさまからの信頼を得るためには、全従業員が各種法令やポリシーを遵守し、高い倫理観を持って公正で誠実に行動することが欠かせません。当社はグローバル共通の行動指針である「グローバル行動規範」に基づき、コンプライアンスの徹底に努めています。

急激な環境変化の中で、企業は時に困難な状況にも直面します。しかしそれは新しいビジネスを生み出すチャンスでもあります。私たちジャトコは、企業価値向上と持続的成長に向けてサステナビリティの重要性を認識し、ステークホルダーのみなさまと真摯な対話を重ねながら、企業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。

私たちの取り組みで、人々、社会、そして地球の未来へ貢献できるよう、これからもサステナビリティ経営を強化してまいります。

